

総代と総代会

1 総代会制度について

信用金庫は、事業地区内の会員によって組織され、会員同士の「相互信頼」と「互恵」を基本理念に、会員1人1人の考えを最大尊重する協同組織の金融機関です。

従って、会員は出資口数に関係なく1人1票の議決権を持ち、総会を通じて信用金庫の経営に参加することになります。

しかし、当金庫では会員数が大変多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を行うため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、「決算」「取扱業務」「理事・監事の選任」等の金庫の重要事項を決議する最高意思決定機関です。従って、総代会は総会と同様に、会員1人1人の意見が当金庫の経営に反映されるように、会員の中から適正な手続きによって選任された総代により運営されます。

2 総代と選任方法

○ 総代の任期等

総代の任期は3年です。また、総代の75歳定年制を設けております。

総代の定数は60人以上80人以内で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められています。

2019年3月31日現在の総代定数は77人で、会員数は9,697人です。

○ 総代候補者選考基準

資格要件 当金庫の会員であること等

適格要件 総代としてふさわしい見識を有していること等

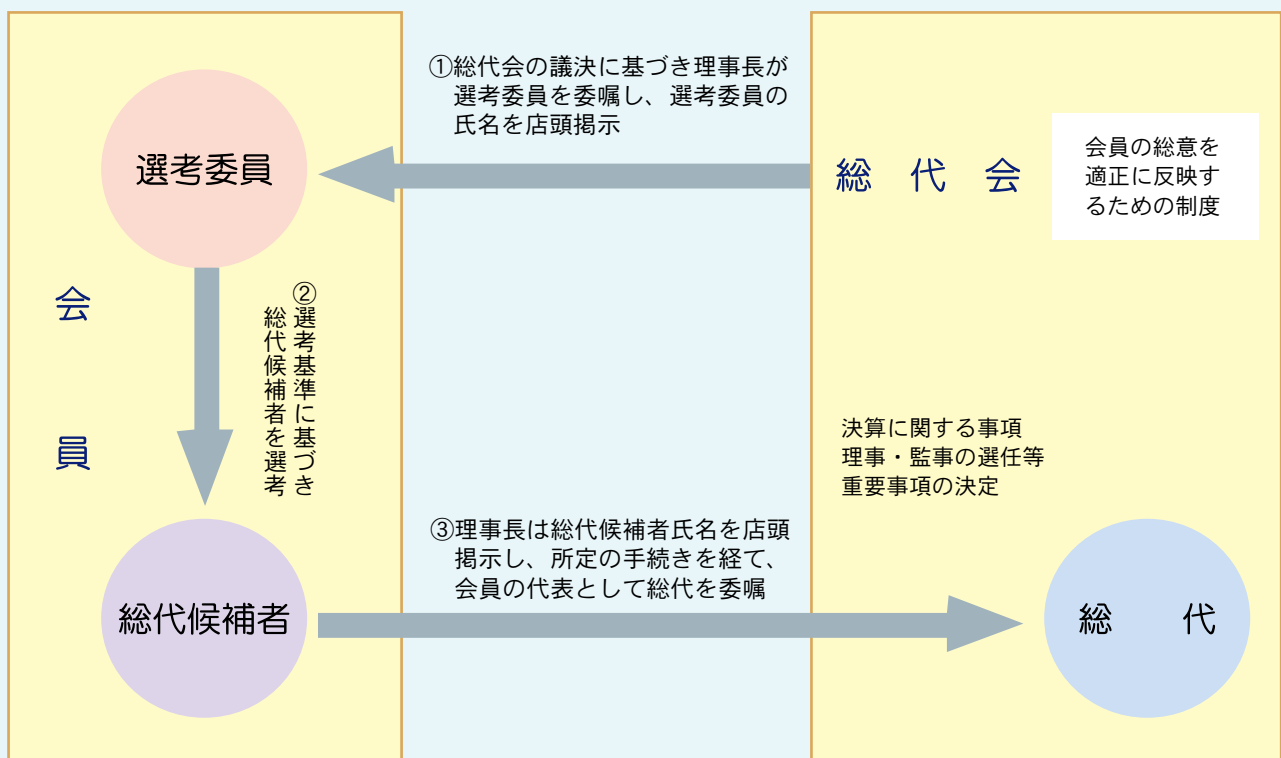
○ 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。

そこで、総代の選考は総代候補者選考基準に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

- ① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ② 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- ③ 総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

3 総代選任方法等



4 総代定数と総代氏名 (令和元年6月26日現在)

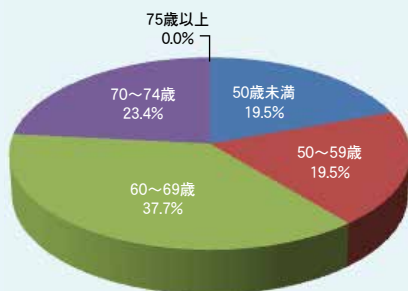
(順不同、敬称略)

地区別	営業店別	総代定数	氏名(就任回数)			
中央地区	本店	26	井上 克彦(6)	植田 康一(6)	岡村 祥平(5)	片岡 克(10)
			国見 成史(5)	佐竹 義典(5)	寺尾 郁(5)	立目 敬次(2)
			矢野 誠(3)	山沖 啓(10)	本山 昇吾(2)	大石 忠生(3)
			土居 愛明(4)	福寿 隆(5)	山中 正範(7)	亀谷 文裕(3)
			山崎 敏広(1)			
	具同支店		植田 英久(10)	大西 亮(6)	大塚 和助(1)	土森 一美(1)
	下田支店		高下 正春(9)	松倉 光利(1)		
	川崎支店		高瀬 勲男(6)	竹内 啓介(5)	芝 正弘(4)	
幡東地区	入野支店	7	塩田 充幸(5)	濱田 朗宏(2)	林 敬三(9)	松山 圭(3)
	佐賀支店		西村 憲章(5)	明神 睦(3)		
幡西地区	宿毛支店	18	井上 和司(5)	立田 雅弘(5)	山崎 猛(6)	有田 裕彦(4)
	弘見支店		中西とほる(5)	宮本 有二(8)	杉本 克彦(4)	上岡 悟(1)
	平田支店		白井 誠(9)	新谷 誠(4)	亀井 實(1)	橋本 隆寿(1)
			宮崎 照也(1)			
			伊与田和彦(7)	菊田 恵介(7)	中脇 厚(5)	川村幸太郎(3)
			川間 凡也(2)			
渭南地区	清水支店	11	鬼谷 隆宏(8)	永野 雅道(6)	中村 正志(5)	西村 和興(4)
			上原 敏(4)	児島 祐二(2)	吉永 正幸(2)	西村 公一(5)
			宮村 八長(8)	穂崎 忠(1)	田村 幸一(1)	
高知地区	高知支店	15	古谷 博(5)	三谷 勝水(5)	山下 訓生(5)	岡崎 順一(4)
	万々支店		中嶋 司(1)			
	神田支店		今城日出男(10)	三浦 博之(4)	山下 高明(3)	
	南国支店		中岡 素直(6)	中平 廣喜(9)	宮地 彌典(8)	宮地喜一郎(7)
			野村 かよ(4)	小野二三雄(1)	瀬川 知穂(1)	
合計		77				

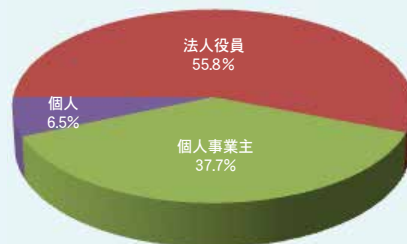
(注) 総代就任回数は、平成4年の選任以降の回数です。

■総代の属性別構成比 (令和元年6月26日現在)

年齢別構成比



職業別構成比



業種別構成比

